

國學院大學學術情報リポジトリ

2016年度のトピック3

2016年度のCERCとの連携事業について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 村上, 晶 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00001907

2016年度のCERCとの連携事業について

2011年1月に発足した宗教文化教育推進センター（通称CERC）は、宗教文化士の認定に関わる業務と、宗教文化教育の充実に関わる業務を行っている。

CERCとの連携により、日本文化研究所では宗教文化教育推進のための教材作成に取り組んでいる。以下では、2016年度の教材開発の成果とCERCの活動について報告する。

（1）宗教文化教育推進のための教材作成について

教材開発に関して、CERCとの共同で宗教文化を学ぶための以下ようなオンライン教材を既に公開している。

- ①「宗教文化を学ぶための基本書案内」
- ②「世界遺産と宗教文化」
- ③「映画と宗教文化」
- ④「博物館と宗教文化」
- ⑤「宗教文化に係る基本用語クイズ」

2016年度は、特に②「世界遺産と宗教文化」③「映画と宗教文化」、及び④「博物館と宗教文化」の内容の拡充を図り、データベースへの新規項目の追加のほか、重要な項目に関する解説を執筆、公開した。②「世界遺産と宗教文化」の教材では、「カンタベリー大聖堂、聖オーガスティン修道院跡と聖マーティン教会」などのページに写真資料を追加し、また「ウェストミンスター宮殿、ウェストミンスター・アビーとセント・マーガレット教会」や「マサダ国立公園」などのページを新規に追加した。「映画と宗教文化」の教材では、「イーダ」、「あなたを抱きしめる日まで」、「神は死んだのか」、「天国は、ほんとうにある」

など近年公開された映画のなかで宗教文化と関連するものを新規に多数掲載し、情報を充実させた。①、④、⑤についても情報収集を継続して行っており次年度以降も教材の充実を図る。さらに②と④についてはスマートフォン向けの地図アプリ「ロケスマ」と連携して、表示される地図上のピンをタップすると公開されている教材へとリンクされるシステムとなっている。「ロケスマ」をスマートフォンにダウンロードしたのちに、トップ画面→「コラボ・イベントマップ」→「宗教文化教育推進センター」と進み、該当マップをダウンロードすることで、使用することができる。

（2）CERCの活動について

2-1. 認定試験の実施

CERCは2016年度、6月26日に第10回、11月20日に第11回目の宗教文化士認定試験を行った。第10回認定試験は、北海道大学・東北大学・國學院大學・皇學館大学・関西学院大学・龍谷大学・天理大学・九州大学の8会場で行われ、受験者は45名、合格者は31名であった。2016年度から九州大学が会場として加わったこともあり、受験者数は大きく増加した。続く第11回認定試験は、國學院大學と関西学院大学の2ヶ所で行われ、受験者は35名、合格者は24名であった。前年度から報道関係者にも受験資格が認められるようになったことを受け、2016年度は報道関係者による資格取得がみられた。第1回試験からこれまでに271名の宗教文化士が誕生している。

2-2. 「宗教文化士の集い」の開催

2016年度は、新たな取り組みとして「宗教文化士の集い」が開催された。11月26日（土）と12月3日（土）午後、それぞれ関西大学（大阪会場）と國學院大學（東京会場）を会場として行われた。大阪会場では井上順孝國學院大學教授の新宗教に関する講演、東京会場では矢野秀武駒澤大学教授による上座仏教に関する講演があった。また資格更新についての注意点や、CERCの目指すところについての説明がなされた。その後、参加した運営委員および宗教文化士の自己紹介があり、なごやかな懇談の時間がもたれた。参加者からは、宗教施設見学を行いたいという要望が出され、次年度以降実施される予定となった。「宗教文化士の集い」は宗教文化士同士の交流を促すだけでなく、資格取得者の実際の声から、資格の役割や必要なアフターケアについて考えるための機会ともなった。

2-3. 更新（上級宗教文化士認定）について

宗教文化士資格は取得から5年間の有効期限が設けられており、2016年度は第1回認定試験の合格者を対象とした更新受け付けが始まった。更新のためには、(a) e-learningによる学習、(b) CERC指定の講演会などの聴講とレポート提出、(c) メルマガの記事をもとにしたレポートの提出、(d) 体験に基づくレポートの提出、の4種から1つまたは複

数を選び、計3ポイントが認められることが必要となる。更新が認められると、終身資格の「上級宗教文化士」が与えられる。

第1回認定試験での資格取得者は58名であるが、そのうち半数以上にあたる30名が更新のための課題を提出し、更新が認められて上級宗教文化士となった。

2-4. 宗教文化士および上級宗教文化士へのサポートについて

CERCでは、宗教文化士の資格取得後も宗教文化に関する情報を得るためのサポートの一環として、「CERCメルマガ」を年に4回発行している。メルマガでは、宗教文化に関わる最新のニュースを解説とともに紹介。また、講演会やシンポジウムの情報も掲載されている。2016年度末時点で、19号まで発行された。

2-5. 協定機関・参加大学の広がり

2016年度、協定機関に「古代オリエント博物館」（東京都豊島区）が加わった。宗教文化士は認定証の提示で入館料が半額になる優待措置を受けることができる。また、宗教文化士資格の参加大学として新たに九州大学、花園大学、高野山大学が加わった。資格に対するさらなる認知の広がりが期待される。

（村上晶）